特集 わたしたちの暮らしを守る「笛吹ダム」

「県職員からタム施設の訪明を受け」	戦の区成験る箇体 員見と18がた所の
-------------------	-----------------------



防災や市民の水の確保のため

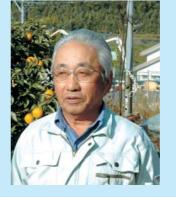
湖底に残る棚田

Ą

自分の水田や畑だった所を見に 湛水試験や放流試験の際に

もあり、

笛吹地区 笛吹ダム対策委員会会長 末永勝秀さん (志佐・笛吹、 71



残っているので、今後も県との話 境を崩さないように河川の魚道確保 いしました。 や水田の石垣を自然石で復旧をお ためにダム建設を承諾しました。 防災や市民の水を安定的に確保する 田の水不足はありませんでしたが 策委員会がつくられました。 絡窓口として笛吹・横辺田両地区に対 すすめていくことにしています。 た、工事に仮使用した土地は、 対策委員会では、 笛吹地区は笛吹川や湧水により水 県の働きかけで県や市と地元 まだ周辺整備 自然環 \mathcal{O} ま か 願 を 連

関係者との協議は200回以上

地権者の会会長 吉田正義さん (志佐・笛吹、 83



を目的に、地権者の会を設立しました。 地権者の意志統一や要望の取りまとめ は大変な苦労がありました。 調整を200回以上行うなど、 に行き参考にしました。関係者と協議 に交渉経過や補償内容などの話を聞き 役員で嬉野市横竹ダムなどの地権者 県と市からダム建設の説明を受け、 交渉で

あり、 いという人やダム崩壊を心配する声も て回ることもありました 地権者の中には水田を手放したくな 会長として仕事を休んで話をし

が図られました。 リをあげるなど交通安全対策の強化 雪などの悪天候の影響で工事が難航 を配置し、交通安全を促進するノボ 行する道路の交差点には交通整理員 た。また、工事用のダンプなどが通 トラックの通行時間帯を制限しまし 通学に影響を与えないよう、ダンプ 小学校・保育所等があるので、通勤 することもありました。 ダム工事では、ダムの直下に民家 工事が進められていく中で、 地元住民とともに 雨や

安全第一を意識させることで事故ゼ 新しい工法を採用したり、 設では、交通安全対策の成果もあっ のになってしまいます。笛吹ダム建 あってはせっかくの事業が悲しいも 策もとられました。 できるように整備するなどの安全対 生徒や児童、地域住民が安全に歩行 は、1・5*いいの仮設歩道を設置し、 ることができました。 Ţ ダム工事でも、より安全性の高 工事の大型車両が往来する県道に 大きな事業が完成しても、 事故もなく無事に完成を向かえ 作業員に 事故 1) が

特集わたしたちの暮らしを守る「笛吹ダム」

事を終えました。
事を終えました。



達成感の共有ができた

(志佐・横辺田、7) 第一次の人が策委員会副会長横辺田地区



きな事業に貢献できたという達成感 期待もあります。 2号機建設の呼び水になればという 安定供給の備えとして、 たのでスムーズに進んだと思います。 勢でコミュニケーションが取れてい に取り組もうと話がまとまりました。 いましたが、 無かったので、 の共有ができて良かったです。 おり、笛吹地区と協力してダム建設 てくれ、地元の話を聞こうという姿 県や市は必要なときには説明に来 地域住民として、 志佐川の治水と併せて、両電力の 横辺田地区は笛吹川の水の利用 一部の土地が関係して 他人ごとだと思って いろんな人と大 また、九電 ŧ

ダムの完成を祝う

成を迎え、平成19年11月18日に竣工式が行われました。平成12年度から本体に着手した笛吹ダム工事は、平成19年度に完

笛吹ダム竣工式

県の関系皆から工事径過の報告のよど行われました。 国、県、市、地元住民、工事関係者国、県、市、地元住民、工事関係者

サコイ踊りを披露するなど、地元住地元上志佐小学校の子どもたちもヨ人から祝賀の詞の詩吟が披露され、アーチ前では、錦城流松浦支部の5人から祝賀の詞の詩吟が披露され、





した。

民に対し感謝の意を表しました。
民に対し感謝の意を表しました。